



# 二中だより



第7号 2025（令和7）年5月2日 発行責任者 加賀谷 登

## 「いってきます」と「いってらっしゃい」 5月2日（金）の全校集会の校長講話より

今日は「いってきます」と「いってらっしゃい」という言葉について話をします。2年生・3年生の人は、昨年も聞いたと思いますが、忘れた人もいます。思い出しながら聞いてください。

今朝、家を出る時、「いってきます」と言えた人、手を上げてみてください。……

「いってきます」という言葉ですが、もともとは「行って参ります」と言っていたそうです。それが明治くらいから「行って来ます」と言うようになったのですが、日本人は古くからこの言葉を大切に使っていました。実は「行って」と「来ます」の間に、ある言葉が省略されています。どんな言葉が省略されているかというと、「行きます（が、必ず帰って）来ます。」という言葉です。江戸時代には「行って参ります」という形式的な言葉が使われていたことから、昔は旅をすることや夜道を歩くことも命がけだったので、「行って参ります」と言うことで、大切な人に対して「必ず帰ってくる」という誓いをたてていたのです。だから「いってきます」という言葉も、必ず帰ってくるという誓いの意味があるのです。

「行ってきます」という言葉が省略されているということは、送り出す側の「行ってらっしゃい」という言葉も省略されていると考えられます。「行きます（が、必ず帰って）来ます。」に対してどう答えるかというと「（無事に）行って、（帰って）らっしゃい」ですね。「いってらっしゃい（無事に行って、帰ってらっしゃい）」ということで、相手の誓いに対して祈りのような想いを重ねたのでしょう。

時代背景において、「必ず帰る」という約束をできなかった時代もあります。戦時中は、出陣の際には「行きます」と言っていた時期もあるそうです。戦争で死ぬかもしれないという現実が「必ず帰ってきます」と約束できなかったのでしょう。また、「お国のために」ということで、必ず戻るという言葉ははばかれたのだと思います。

このように「行ってきます」「行ってらっしゃい」という言葉は、大切な人との再会を願う「誓い」と「祈り」の気持ちと、今一緒にいられることの大切さを教えてくれているのです。

それから「行ってきます」「行ってらっしゃい」という定型句があるのは日本語だけだそうです。これからも、この言葉だけでなく、日本語そのものを大切にしていきたいものです。

土曜日からは、ゴールデンウィーク後半が始まります。この言葉に込められた想いを、意識して過ごしてみましょう。

### 前期学級役員の内命しました！

学級	級長	副級長
1年1組	東條 将祐 さん	勘田 璃子 さん
1年2組	眞鍋 優莉愛 さん	吉原 怜生 さん
2年1組	井坂 妃花 梨 さん	有吉 晃平 さん
2年2組	横田 朱音 さん	山田 零 さん
3年1組	花岡 直嗣 さん	西田 柚乃 さん
3年2組	岡山 桜亮 さん	富永 成実 さん

前期、学級のお世話をよろしくお願ひします。

### 表彰

令和7年度徳島県中学校ソフトテニス選手権大会  
女子の部 団体戦 第3位 阿南第二中学校

ゴールデンウィーク後半も、大会や練習試合、イベント出演等を予定している部活動があります。自分の力をしっかり発揮してきてください。

## 今年の合い言葉が「花」に決定しました！



昨年は「輝」でした。二中がさらによくするために、一人一人が二中生としての自覚を持ち、一人一人が輝いている、そのような姿を目指していきたい。お互いのことを認め合い、みんなで支え合って、高め合う。そして、それぞれが、自分の目標に向かって努力することができれば、より輝くことができるのではないか。との想いが込められていました。

今年は、年度末に現在の2・3年生からアンケートをとって決定しました。今年は「花」です。「花」に込められた想いは、「花のように、一人一人の個性を大切にする」「満開の花のような挨拶をする」「一人一人の努力が花開くように、チーム二中で努力する」という想いを込めているそうです。他にも、「花のように美しくありたい」「花びらが集まる＝協調性」「多様性の認め合い」「花びら一枚一枚が集まって美しい花になっているように、生徒一人一人が協力し、努力し、何かを成し遂げていく」等の意見が出たそうです。

一輪の花を阿南二中とすると、生徒一人一人がその花びらになります。全員の力を結集して見事な大輪の花を咲かせてもらいたいです。

### 命の大切さを今一度考えて！ 有意義なゴールデンウィークに！

4月後半からの大型連休も含めてこの前後は、子どもたちの事故が増える時期でもあります。特に、急に暑くなってくるため、海や川での水遊びによる事故、自転車通学に慣れてきた1年生の交通事故などが心配されます。有意義な連休にするためにも、今一度生活を振り返り、気持ちを引き締めて、

命の大切さを考えてください。軽率な行動で、後悔したり、まわりの人たちを悲しませたりすることのないようにしましょう。

また、暑さに体が慣れていないため、熱中症になりやすい時期でもあります。休み中の部活動を含めて、学校には水分補給のための水筒を持たせてください。熱中症予防には、十分な睡眠と朝食を摂ることが大切です。特に休み中、朝食を摂らずに部活動に参加する生徒がいます。各ご家庭でも十分ご注意ください。

## 人権コーナー

毎月第一日曜日は、家庭人権学習の日です。資料をもとに、各ご家庭で話し合ってみてください。今回は、「教科書無償」についてです。なぜ、教科書は無償（タダ）なのか、教科書をどのように使わなければならないか、考えてみましょう。

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

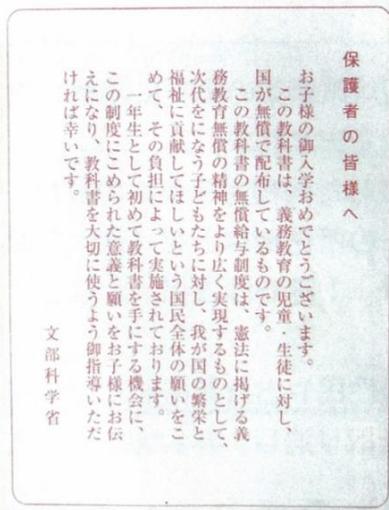
この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。  
この教科書は再生紙と植物油インキを使用しています。

上の写真を見てください。書かれている言葉は、「この教科書は、これからの日本を担うみなさんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」です。どちらも同じです。上段の写真は、今年の1年生に配付した「理科」の教科書の裏表紙に書かれていました。下段の写真は、同じく1年生に配付した「数学」の教科書の裏表紙に書かれています。「英語」と「国語」だけではありません。小中学生が使うすべての教科書の裏表紙にはこの言葉が書かれているのです。

1946（昭和21）年11月3日に公布され、1947（昭和22）年5月3日に施行された日本国憲法。その**第26条2項**には「**すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。**」と定められています。しかし、憲法で義務教育は無償と定められた後も、教科書は有料でした。新学期を迎える前になると保護者たちは、知り合いに古い教科書をゆずってもらったり、古くて使えないものやないものだけを買ってそろえたりしていました。当時高知県のある村では、一日働いても300円ほどの収入にしかありませんでした。教科書を全部揃えると、小学校で700円、中学校で1200円ほどかかりました。子どもの数が今と比べて多かったその当時は、教科書を全部揃えるだけでも、かなりの出費でした。1960（昭和35）ごろになると、物価も高くなり始め、教育費を負担する家庭の生活は苦しくなっていました。

そんな中で、高知県のある被差別部落の村では、「私たちが習った歴史と子どもたちが習った歴史は全然違う。私たちが子どもの教科書を使って勉強し直そう。」とお母さんたちによる憲法の学習が始まりました。その中で憲法26条に記されている「義務教育は、これを無償とする。」という部分が問題になりました。「義務教育は無償とするというのだから、教科書を買うのはおかしい。」「教科書がタダでないのは、憲法が守られていないのと同じだ。」ということが話し合われました。そうして、「教科書をタダにする会」が結成され、教科書は無償にする運動が始まりました。この運動は、多くの人々や団体・政党に支持され、全国的な運動に発展し国会でも取り上げられました。1962（昭和37）年、「義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律」（昭和37年3月31日公布、4月1日施行）に基づき、段階的に教科書が無償配付されるようになっていきました。

この無償化の運動は、差別と貧困で苦しめられてきた被差別部落の人たちの憲法を守るための闘いとして出発したことを忘れてはいけません。



現在も小学校入学時に配られる袋には、教科書無償の意義が記載されています。

### ※振り返ってみましょう

- 教科書を大切に使っていますか。
- 授業中、教科書を忘れていませんか。

### ※覚えておきましょう

- 教科書は、最高の参考書です。基礎学力テストや高校入試には、教科書に出ていないことは出ません。
- 被差別部落の人々の中から始まった運動が、すべての人々の幸せにつながりました。

「教科書をタダにする運動」は簡単ではありませんでした。決して一人の力ではできませんでした。多くの人たちが支え合って続けていったのです。本校のめざす生徒像の一つでもある「認め合い、支え合い、高め合う生徒（絆づくり）」にもつながっていくものだと思います。

↑ 今も小学校1年生にはこの封筒が使われています。